



平成19年9月28日

各位

会社名 株式会社 ふくおかフィナンシャルグループ
 代表者名 取締役会長兼社長 谷 正 明
 本社所在地 福岡市中央区天神二丁目13番1号
 (コード番号8354 東証第一部、大証第一部、福証)
 問合せ先 経営企画部長 吉 田 泰 彦
 (TEL.092-723-2502)

親和銀行の子会社化に伴う平成20年3月期 中間期及び通期 業績予想の修正に関するお知らせ

平成19年5月14日発表の平成20年3月期中間期及び通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 【連 結】平成20年3月期通期連結業績予想の修正

(1) 平成20年3月期通期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)連結業績予想

(単位:百万円)

	経常収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	235,000	60,000	34,500
今回修正予想 (B)	270,000	57,000	31,000
増減額 (B) - (A)	35,000	3,000	3,500
増減率 (%)	14.9	5.0	10.1

(2) ご参考 平成20年3月期中間期(平成19年4月1日～平成19年9月30日)連結業績予想

(単位:百万円)

	経常収益	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	114,500	28,000	16,000
今回修正予想 (B)	120,000	26,000	12,000
増減額 (B) - (A)	5,500	2,000	4,000
増減率 (%)	4.8	7.1	25.0

(3) 業績予想の修正理由等

本日、親和銀行が実施した第三者割当増資を当社が引受けたことにより、親和銀行に対する当社の持株比率は61.2%となり、親和銀行は当社の連結子会社となりました。

経常収益の増加は、親和銀行の子会社化によって同行の19年下期(平成19年10月1日～平成20年3月31日)損益が当社の連結対象となったことによるものです。

経常利益、当期(中間)純利益の減少は、各子銀行において株式減損額が増加したこと等を主因とするものであります。

(4) その他

配当予想につきましては、前回発表時(平成19年5月14日)どおり年間9円(中間期4.5円)にて変更ございません。

なお、熊本ファミリー銀行、親和銀行取得にかかるのれんの償却期間については20年としております。

2. 【単 体】平成20年3月期中間期及び通期業績予想の修正

(1) 平成20年3月期中間期（平成19年4月1日～平成19年9月30日）業績予想

(単位:百万円)

	経常収益	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	5,000	4,000	3,900
今回修正予想 (B)	36,000	34,500	34,400
増減額 (B) - (A)	31,000	30,500	30,500
増減率 (%)	620.0	762.5	782.1

(2) 平成20年3月期通期（平成19年4月1日～平成20年3月31日）業績予想

(単位:百万円)

	経常収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	10,000	8,000	7,900
今回修正予想 (B)	39,000	34,600	34,500
増減額 (B) - (A)	29,000	26,600	26,600
増減率 (%)	290.0	332.5	336.7

(3) 業績予想の修正理由等

経常収益、経常利益及び当期（中間）純利益の増加要因は、本日福岡銀行から受領した配当金収入350億円によるものであります。

なお、連結決算においては相殺消去されるため、連結損益に与える影響はありません。

3. ご 参 考 子銀行の業績見込み

(1) 福岡銀行

ア 【単 体】

(単位:百万円)

	前回発表予想 (A)		今回修正予想 (B)		増減額 (B - A)	
	平成19年度	中間期	平成19年度	中間期	平成19年度	中間期
経常収益	190,000	93,000	201,000	100,000	11,000	7,000
業務純益	64,000	31,000	62,500	30,000	▲ 1,500	▲ 1,000
コア業務純益	64,000	31,000	62,500	30,000	▲ 1,500	▲ 1,000
経常利益	57,500	27,000	40,000	10,000	▲ 17,500	▲ 17,000
当期純利益	33,000	15,500	23,000	5,000	▲ 10,000	▲ 10,500
信用コスト	6,000	3,000	3,000	1,000	▲ 3,000	▲ 2,000

イ 【連 結】

(単位:百万円)

	前回発表予想 (A)		今回修正予想 (B)		増減額 (B - A)	
	平成19年度	中間期	平成19年度	中間期	平成19年度	中間期
経常収益	195,000	95,000	206,000	102,000	11,000	7,000
経常利益	59,000	27,800	41,500	11,000	▲ 17,500	▲ 16,800
当期純利益	34,000	16,000	24,000	5,500	▲ 10,000	▲ 10,500

* 福岡銀行単体・連結の業績修正理由

経常利益及び当期（中間）純利益の減少は、福岡銀行が持つ当社第二種優先株式、普通株式の売却にかかる売却損計上を主因とするものであります。

なお、売却損は当社連結決算においては資本取引とみなされるため、連結損益に与える影響はありません。

(2) 熊本ファミリー銀行

ア 【単 体】

(単位:百万円)

	前回発表予想 (A)		今回修正予想 (B)		増減額 (B - A)	
	平成19年度	中間期	平成19年度	中間期	平成19年度	中間期
経常収益	40,000	19,500	36,000	18,000	▲ 4,000	▲ 1,500
業務純益	12,500	5,700	8,100	3,400	▲ 4,400	▲ 2,300
コア業務純益	12,500	5,700	8,100	3,400	▲ 4,400	▲ 2,300
経常利益	7,000	3,000	1,500	▲ 600	▲ 5,500	▲ 3,600
当期純利益	7,000	3,000	500	▲ 1,500	▲ 6,500	▲ 4,500
信用コスト	5,000	2,500	5,000	3,000	0	500

イ 【連 結】

(単位:百万円)

	前回発表予想 (A)		今回修正予想 (B)		増減額 (B - A)	
	平成19年度	中間期	平成19年度	中間期	平成19年度	中間期
経常収益	41,000	20,000	37,000	18,500	▲ 4,000	▲ 1,500
経常利益	7,000	3,000	1,500	▲ 600	▲ 5,500	▲ 3,600
当期純利益	7,000	3,000	500	▲ 1,500	▲ 6,500	▲ 4,500

* 熊本ファミリー銀行単体・連結の業績修正理由

経常利益及び当期（中間）純利益の減少は、株価低迷に伴う株式減損額の増加、会計基準の運用が一部変更となったことに伴う仕組ローン評価損の計上、繰延税金資産の一部取崩し等を主因とするものであります。

(3) 親和銀行

(単位:百万円)

	【単 体】			【連 結】		
	平成19年度	中間期	下期	平成19年度	中間期	下期
経常収益	55,000	28,000	27,000	55,500	28,000	27,500
業務純益	▲ 17,500	▲ 24,500	7,000			
コア業務純益	12,800	6,000	6,800			
経常利益	▲ 89,000	▲ 92,500	3,500	▲ 89,000	▲ 92,500	3,500
当期純利益	▲ 99,000	▲ 102,500	3,500	▲ 99,000	▲ 102,500	3,500
信用コスト	97,000	94,000	3,000	97,300	94,200	3,100

* 親和銀行単体・連結の業績予想について

本日「第二次中期経営計画」を公表しておりますが、それに基づく中間期並びに通期の業績予想を公表させていただきます。

中間期は、当社の子会社化に伴い貸出償却・引当基準を地銀の中でも保守的とされる福岡銀行基準に統一し、940億円程度の信用コストを計上することを主因に、赤字決算となる見込みです。

下期（平成19年10月1日～平成20年3月31日）は、子会社化に伴う会計基準の変更等が中間期でほぼ終わる見込みであること、統合によるシナジー効果が徐々に発現することが期待できること等により、下期当期純利益35億円を見込んでおります。

なお、当社の連結損益決算書においては親和銀行の下期損益のみが反映され、中間期までの損益は反映されません。

以 上

本件に関するご照会先

ふくおかフィナンシャルグループ 経営企画部 財務 G TEL 092-723-2502